

ほんのしるべ

書標

2025.
5月号

2025年5月5日発行(毎月1回5日発行)
通巻557号 昭和61年7月15日第三種郵便物認可



今月の
おすすめ

社会科学

「働くこと」 大全

水町勇一郎著

本書は社会に出る前の不安を抱える若者にとって必読の一冊だ。

「なぜ働くのか」という根源的な問いから、日本の労働環境、キャリア形成、知っておくべき労働法規まで、多岐にわたるテーマを解説する。

対話形式で書かれており、難解な内容も物語としてスムーズに理解できる。単なる知識の伝達に留まらず、「自分らしい働き方」を考えるヒントを与え、主体的なキャリア形成を促す著者の温かい姿勢が魅力的だ。

近年、労働市場はコロナ禍を機に急速に変貌を遂げている。転職も一般化してきた昨今、新社会人だけでなく「働く」意味を改めて考えたい人に未来への一歩を踏み出す勇気を与えてくれるだろう。

KADOKAWA

一九八〇円



まさか私がクビですか？

なぜか裁判沙汰になった人たちの告白

日本経済新聞「揺れた天秤」取材班著

本書は日本経済新聞電子版にて二〇二三年七月より連載されていたものを書籍化したもの。ふとしたきっかけからトラブルに見舞われ、事件の当事者となり、裁判に至り、判決を受ける。その顛末について民事や刑事を問わず様々な事件を取り上げている。

冒頭では銀行の副支店長が洗剤の試供品を持ち帰ったという些細な理由で解雇され、自ら裁判を起こした事件を取り上げている。お金、恋愛、パワハラ……家庭や会社での日常的にありふれた出来事がとんでもない事件に発展し、裁判沙汰になってしまふことが、自分たちの想像以上に起こりやすいものだと教えてくれ

る。それ故に自分の一挙手一投足にはもつと緊張感を持たないといけないのではないかと考えさせる。

日本経済新聞出版

一九八〇円



QUEST 「質問」の哲学

エルケ・ヴィス著

著者は、わたしたち現代人の人生に深みがなくつまらないと感じるのは、会話における不文律や社交儀礼に縛られて「良い質問」ができていないからだと言く。確かに、現代人の会話はある種の型にはまった、表面的な質問に占められているように感じる。しかし、知りたいことを正直に質問してばかりでは相手を不愉快にさせてしまふ。では、どうすれば良いのか？

本書は哲学の祖ソクラテスを師に、批判的思考と分析、質問の訓練を通して、

「良い質問」をするための技術を身につける実践哲学の書である。多忙な現代人にとって、実りある会話をするためのテクニックを習得することで、人生において有用な発見が得られるはずだ。

ダイヤモンド社 一九八〇円

Breaking Twitter

イーロン・マスク 史上最悪の企業買収
ベン・メズリック著

今、最も世界的影響力を持つ実業家イーロン・マスクによるツイッター買収を、買収された側の目線で描いた作品である。

マスク氏が個人の直感でツイッターを買収し、「X」へ変革するまでを、膨大な量の資料の読み込みや買収された社員・関係者への細かな取材で克明に描いている。マスク氏の狂気のような言動が起す大混乱に、ページを繰る手が止まらない。

前代未聞の企業買収劇。ツイッターがSNSの世界に果たしてきた役割とは一体なんだったのかを考えさせられる一冊である。

ダイヤモンド社 一九八〇円

小澤隆生 凡人の事業論

蛸谷 敏著

数多くの事業を立ち上げ、ヤフーの社長も務めた小澤隆生氏と、氏に関わった方々へのインタビューで、本書は構成されている。

小澤氏へのインタビューは具体的な事業の内容から、最後には人生論にまで及ぶ。そこで語られている氏が築き上げた業績や哲学は、とても凡人のソレではない。だが本書では天才でなく、凡人であったとしても、正しい方法論があれば成功できるという話が繰り返しされている。

実績を積み重ねた経営者の言葉と哲学は、起業や、新規事業に携わる方のみならず、どんなビジネスにも役立つこと請け合いだ。

ダイヤモンド社 二二〇〇円

教養としての「不動産」大全

中城康彦著

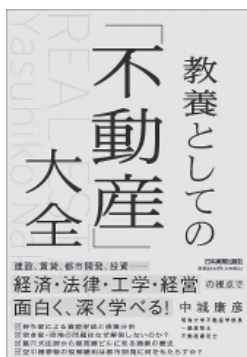
衣食住の一角を担い、私たちの生活に密接に関わる不動産。しかし、その実態は市場原理や法制度などと複雑に絡みあっている。素人からすればまるでブラックボックスだ。そうした錯綜した関

係を解きほぐし、不動産のメカニズムを明らかにする。これが本書の目論見である。

特筆すべきは「大全」と銘打たれていることだ。『教養としての「〇〇」シリーズ』のなかでも、ここまで包括的な視点をとるのは初の試みではないか。

不動産を構成する経済・法律・工学・経営という四項の結びつきを整理することで、歴史や環境問題、投資に至るまで幅広いトピックをカバーしている。その名にふさわしく充実度の高い概説書だ。不動産の全体像をつかむうえでは最適な手引きだろう。不動産関連資格の取得を目指す方はもちろん、ファイナンス分野に関心がある方にとっても有益な一冊に違いない。

日本実業出版社 二六四〇円



MARUZEN JUNKUDO × サマリーポケット

預けた本は一覧で管理。タイトルや作者もデータ登録！

文庫本なら1箱に130冊入ります！

サイズ：幅44cm × 奥行33cm × 高さ24cm



丸善ジュンク堂書店のお客様限定プラン

3箱保管プラン

通常
月額

1,485円

最大 30%おトク

990円

5箱保管プラン

通常
月額

2,475円

最大 35%おトク

1,540円

詳細はこちらから



<https://spkt.jp/maruzen>

※ バーコードを読み込んで画像やタイトルをデータ登録します。バーコードがないものや読み取ることができないものは、適宜個別に撮影します。

※ 価格は全て税込表示です。

※ 本プランの対象となるのは、「サマリーポケット」に新規登録される方に限ります。

※ 本プランはサービス利用開始後24ヶ月間有効です。（翌月以降は通常料金となります。）

ご利用方法は簡単4ステップ



専用サイトで申し込み



届いたボックスに
本を詰めて送るだけ



預けたものは
PC・スマホで管理



使いたい時、最短翌日に
取り出せる

本の保管場所に悩む、すべての方へ

ジュンク堂書店

淳久堂書店

MARUZEN